



- ✓ 地元地域の声を受け、社会インフラである近未来の地域公共交通を促進するための一般質問。
- ✓ 国の方針を視野に、高槻市営バスを核として新たな地域公共交通を促進。
- ✓ 少子高齢化、人口減少をはじめ、自然災害やコロナ禍の長期化などの影響により市営バスの利用者数が減少、厳しい経営状況下でも、市政運営としての、サービスの向上を目指す。
- ✓ 高齢者のラストワンマイル問題等が解決できる交通手段として、フリーエリアで運行するAIオンデマンド交通を要望。
- ✓ 市民が望むのは利便性の向上!!
- ✓ 濱田市長からも、高齢者や子育て世代などあらゆる世代の方に安心して暮らしていただけるよう鋭意取り組んでいくとの決意を!!

## 「高槻市気候非常事態宣言」を表明



- ✓ 本市の豊かな自然環境及び高質な生活環境を次世代に継承し、持続可能な社会を実現するため、「気候非常事態宣言」を3月定例会で表明。
- ✓ 地球温暖化による自然災害の強大化、頻発化が危惧される。
- ✓ 公明党議員団としても、昨年より要望し市議会を主導、12月定例会の議員提出議案の決議では全会一致で可決。
- ✓ 2050年までの脱炭素社会の実現という基本理念を踏まえ、市民一人ひとり、それぞれの事業者、行政が協働して効果的な気候変動対策に取り組んで。

## 総務消防委員会での質疑要望

### マンホールトイレの整備について

質問

現在のところ小学校だけ設置されており、加速化が必要。さらに避難所運営での女性の視点が重要

答弁

概ね10年を目標に、平成30年度から実施設計に着手、今後、中学校の整備も計画。女性の視点として、遮光性のあるトイレ TENT、手すり付きの便座や防犯ブザーなど、利用者に配慮したトイレ備品の整備を進めている。

要望

助け合いのネットワークとしての衛生的なトイレレーラーの検討や、また、関連内容として、令和5年に市政施行80周年を迎えることから「市全域大防災訓練」では、周年記念の文字入りの防災グッズの配布を要望。



### 防犯カメラの管理運営と自治会等防犯カメラ設置補助について

質問

防犯カメラの設置・増設の目的、設置場所の考え方、運用について

答弁

平成28年から通学路に410台の防犯カメラを設置、刑法犯認知件数は約45%減少。しかし、子どもに対する声かけ事案等は続いていたことから、駅周辺を中心とした人流の多い場所や犯罪発生後の追跡に効果的とされる場所等を選定し、プラス400台の防犯カメラを増設。自治会への補助制度の取り組みも含め1,100台を超える設置となっている。

要望

安全・安心、犯罪等のないまちを目指しながら、警察との更なる連携を要望します。



### 参議院選挙事業費について

要望

期日前投票所の増設・拡充について、障がい者や高齢者、また若い人達が、権利の行使ができるよう、投票に行けるよう、施設等や民間事業所等の設置・拡充も含め、引き続き利便性を考慮した環境整備を要望します。

次回も  
お楽しみにー

